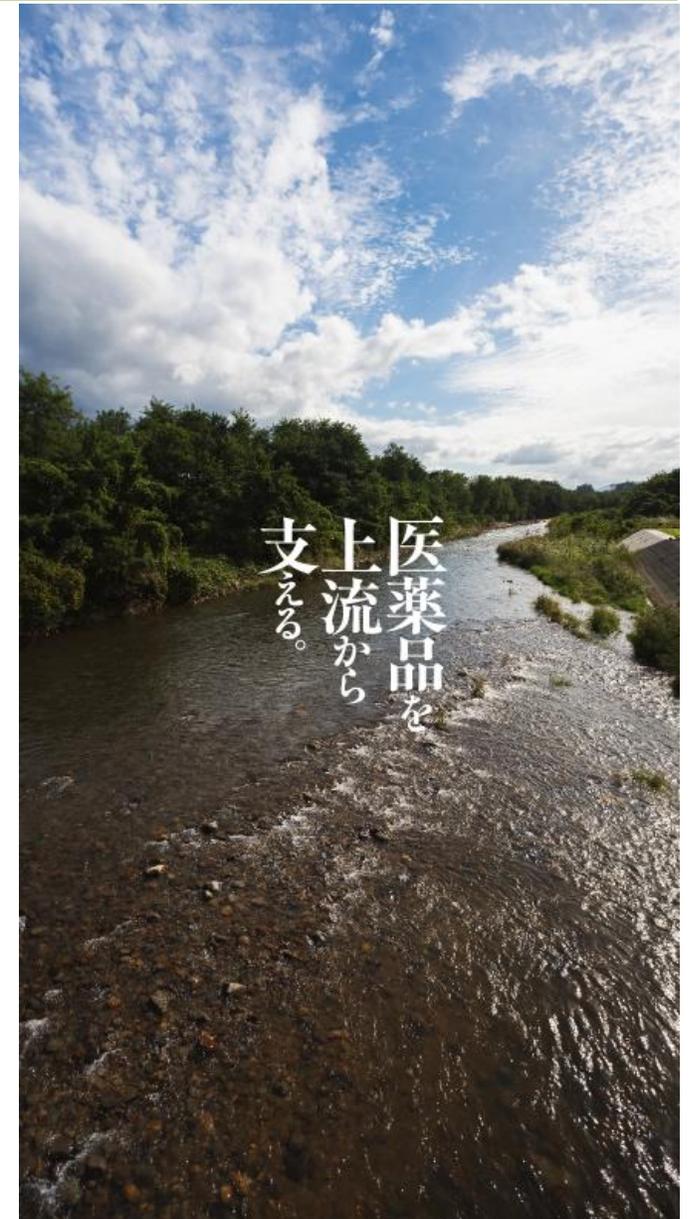


【決算補足資料】 2026年6月期 第2四半期

コア商事ホールディングス株式会社
(証券コード：9273)

2026年2月9日



サマリー

◆ 2026年6月期上半期実績

- ▶ 売上高は、前期比+3.2%、通期業績予想への進捗率49.2%、
営業利益は、前期比+3.4%、通期業績予想への進捗率58.4%となった。
 - (+) 原薬セグメントで近年上市した品目の市場浸透が進んだことや、
ジェネリック医薬品の数量シェア拡大に伴い、取引量が増加（スライド6参照）
 - (+) 医薬品セグメント蔵王工場のプレフィルドシリンジ製剤が堅調に推移（スライド7参照）
 - (-) 医薬品セグメント本社工場の主力製品の錠剤が競合の参入等により減少（スライド7参照）
 - (-) 為替差損が発生（スライド8参照）

◆ 市場環境

- ▶ 選定療養において、患者負担がジェネリック医薬品と長期収載品の価格差4分の1から
2分の1以上へ引き上げを検討
- ▶ オーソライズド・ジェネリック（AG）について、2026年10月以降に新規収載される品目
の薬価が先発品と同額へ

◆ 株主還元

- ▶ 2026年6月期は業績動向を勘案し、1株当たり配当金を2025年8月予想よりさらに1円増配
し18円を予想。（スライド11参照）

決算ハイライト

<実績前期比較>

原薬セグメントが堅調に推移し、前期比増収増益

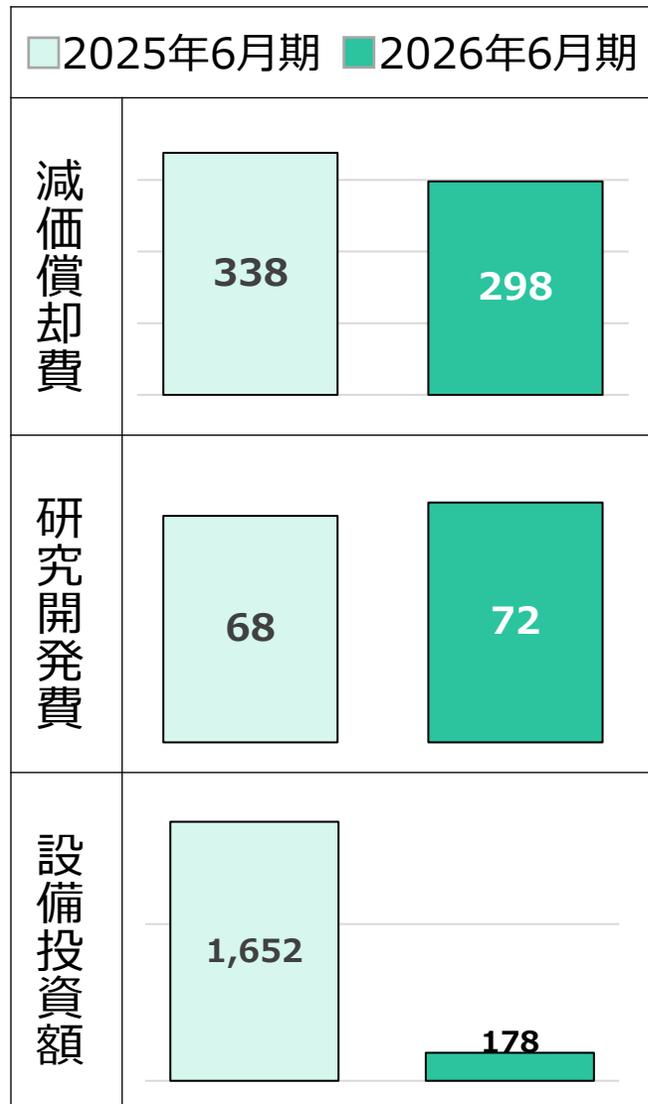
原薬セグメントが増収増益となり、各段階利益も増益。

減価償却費は微減、研究開発費は横ばい。

設備投資は、蔵王第二工場の建設が予定通り進行中。

(単位：百万円)

	2025.6期	2026.6期	前期比	
	上半期実績	上半期実績	増減	増減率
売上高	12,259	12,654	395	3.2
売上総利益	4,157	4,358	201	4.8
営業利益	3,063	3,169	106	3.4
経常利益	3,065	3,113	48	1.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,049	2,085	36	1.8
配当金(円/株)	16	18	2	12.5
減価償却費	338	298	△ 40	△ 11.8
研究開発費	68	72	4	5.9
設備投資額	1,652	178	△ 1,474	△ 89.2



セグメント別 前期比較（1）

医薬品セグメントが減少も、原薬セグメントが伸長

(単位：百万円)

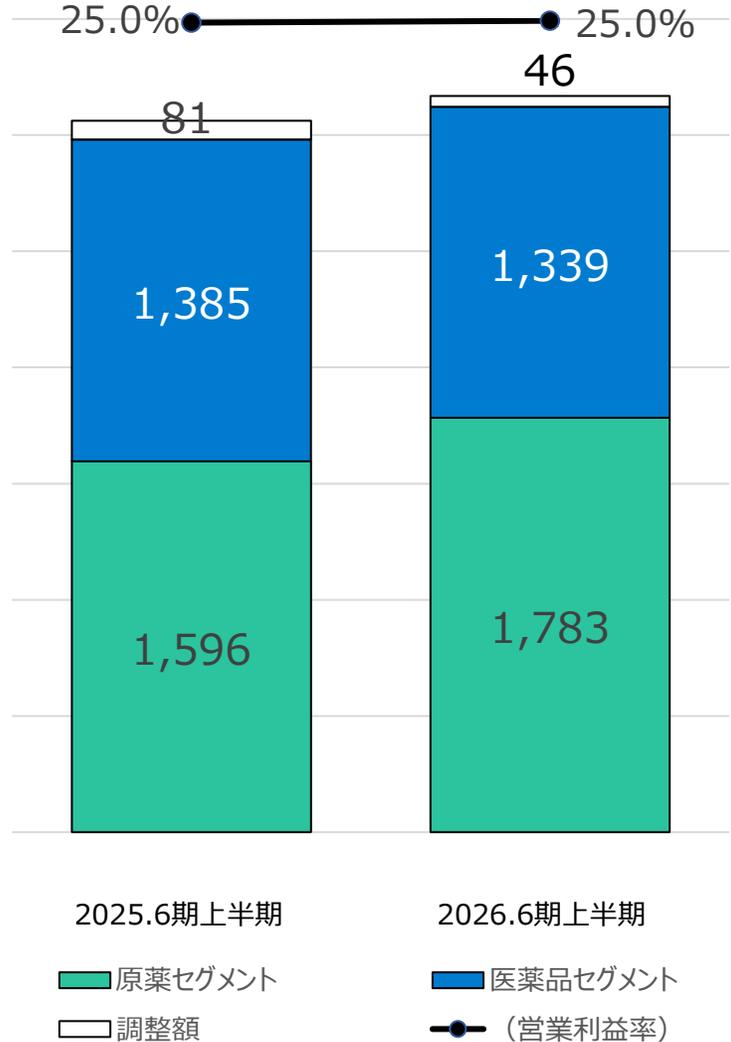
	2025.6期	2026.6期	前期比	
	上半期実績	上半期実績	増減	増減率
売上高	12,259	12,654	395	3.2
原薬セグメント	8,012	8,467	455	5.7
原薬セグメント（外販）	7,408	7,818	410	5.5
内販	603	649	46	7.6
医薬品セグメント	4,851	4,836	△ 15	△0.3
調整額	△ 603	△ 649	△ 46	7.6
営業利益	3,063	3,169	106	3.4
原薬セグメント	1,596	1,783	187	11.7
医薬品セグメント	1,385	1,339	△ 46	△3.4
調整額	81	46	△ 35	△43.2
（営業利益率）	25.0%	25.0%	0.0%	—
経常利益	3,065	3,113	48	1.6
中間純利益	2,049	2,085	36	1.8

セグメント別 前期比較 (2)

売上高前期比較



営業利益前期比較



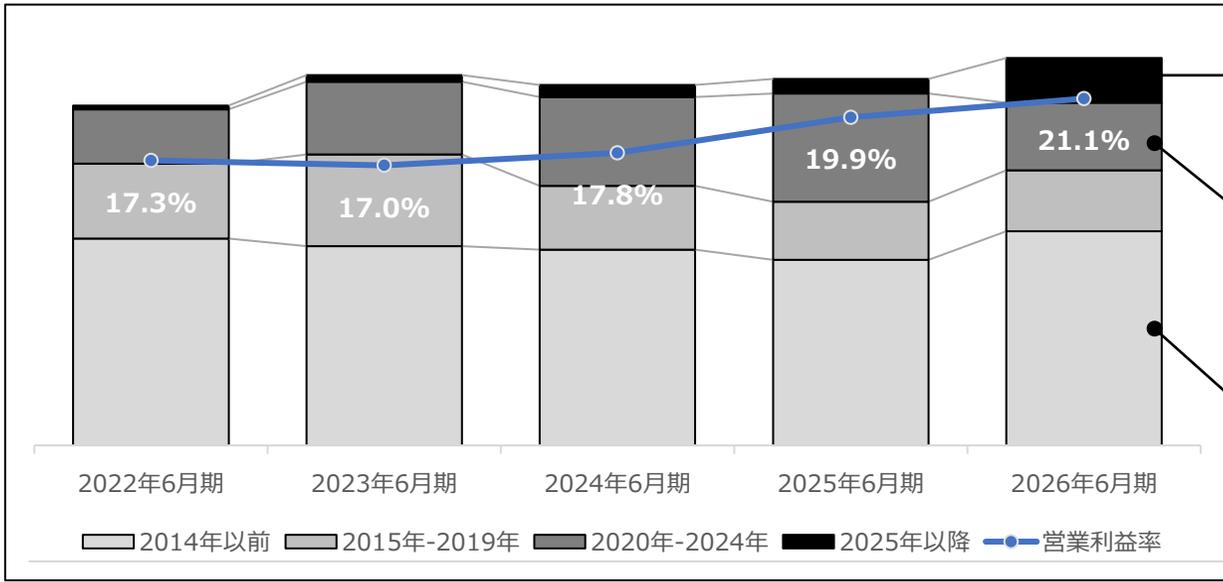
医薬品セグメント：
受託製造しているプレフィルドシリンジ製剤の販売が堅調に推移した一方で、主力製品の錠剤が競合の参入等により減少したこと等により減収減益。

原薬セグメント：
近年上市した品目の拡販や選定療養等によるジェネリック医薬品の数量シェア拡大に伴う取引量の増加により増収増益。
セグメント利益率は粗利率が向上し伸長。

原薬セグメント 売上高分析

原薬セグメントでは2025年以降に上市した品目が堅調に推移し、増収

上市年別 売上推移

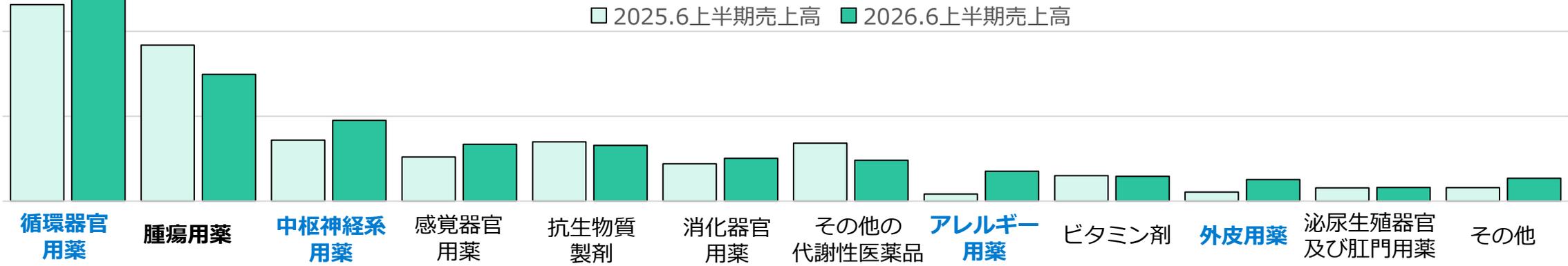


中枢神経系用薬、アレルギー用薬：
近年上市品目の拡販、原薬供給量の増加等により増加

腫瘍用薬：
顧客の購入タイミングの影響等により減少

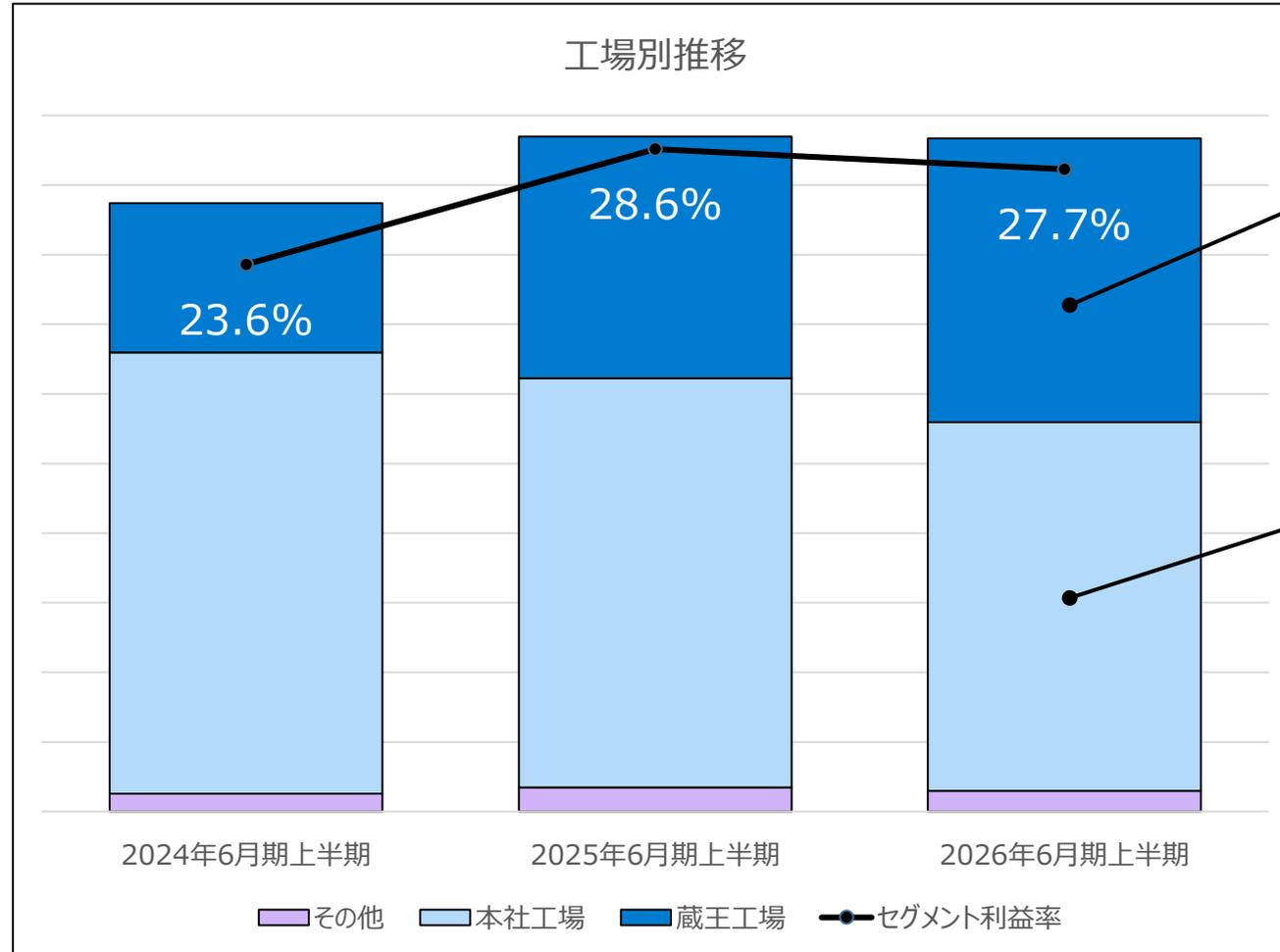
外皮用薬、循環器官用薬：
選定療養等による数量シェア拡大等により増加

薬効分類別 売上前期比較



医薬品セグメント 売上高分析

医薬品セグメントでは蔵王工場の主力製品が堅調に推移した一方、本社工場の主力製品は競合の参入等があり、減収となった



蔵王工場：
受託製造しているプレフィルドシリンジ製剤の販売が、堅調に推移し増加

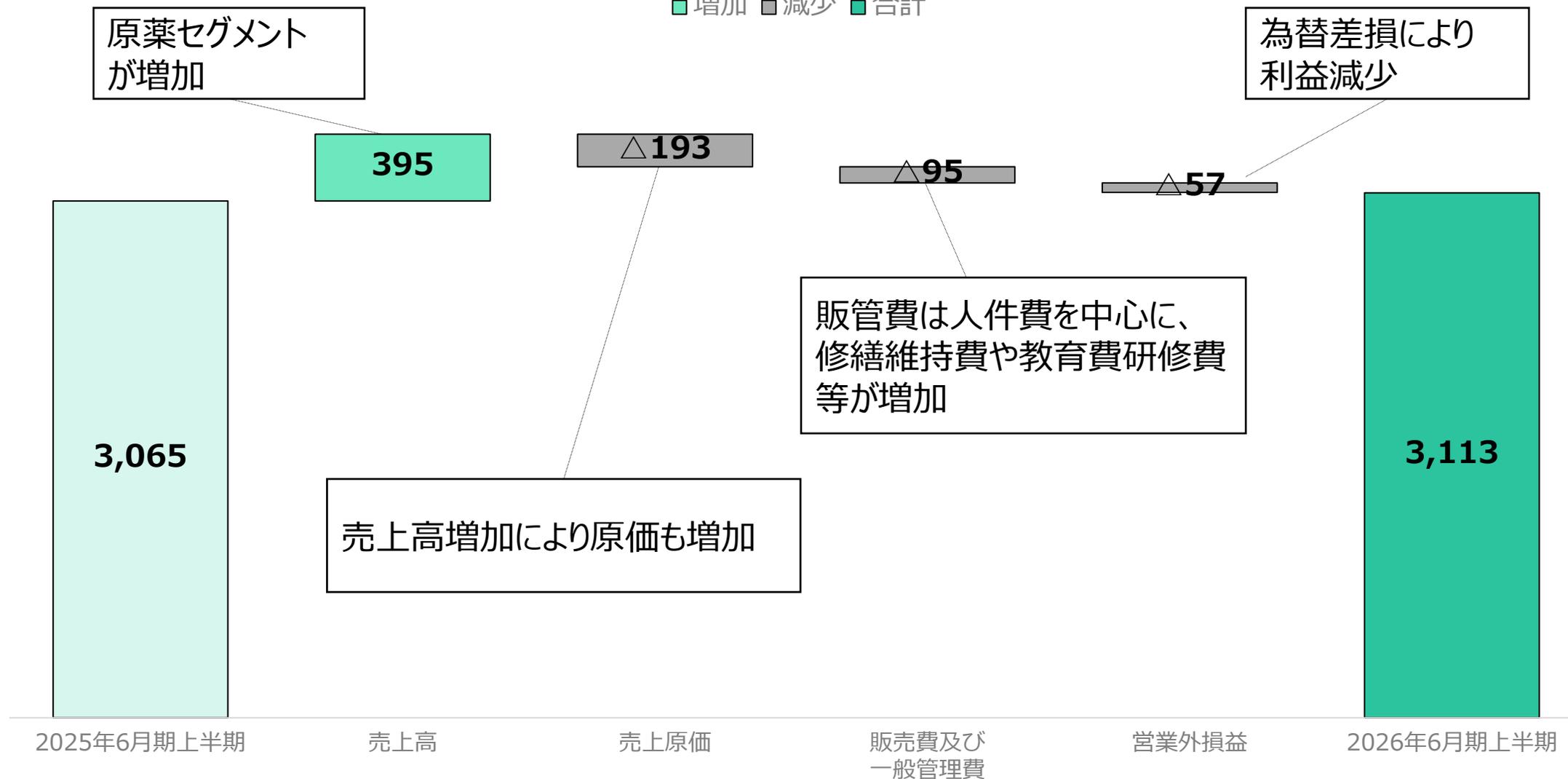
本社工場：
主力製品である錠剤が競合の参入等により販売が減少

セグメント利益率：
本社工場の主力製品である錠剤等の販売が減少したことにより利益率も減少

経常利益の増減要因

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



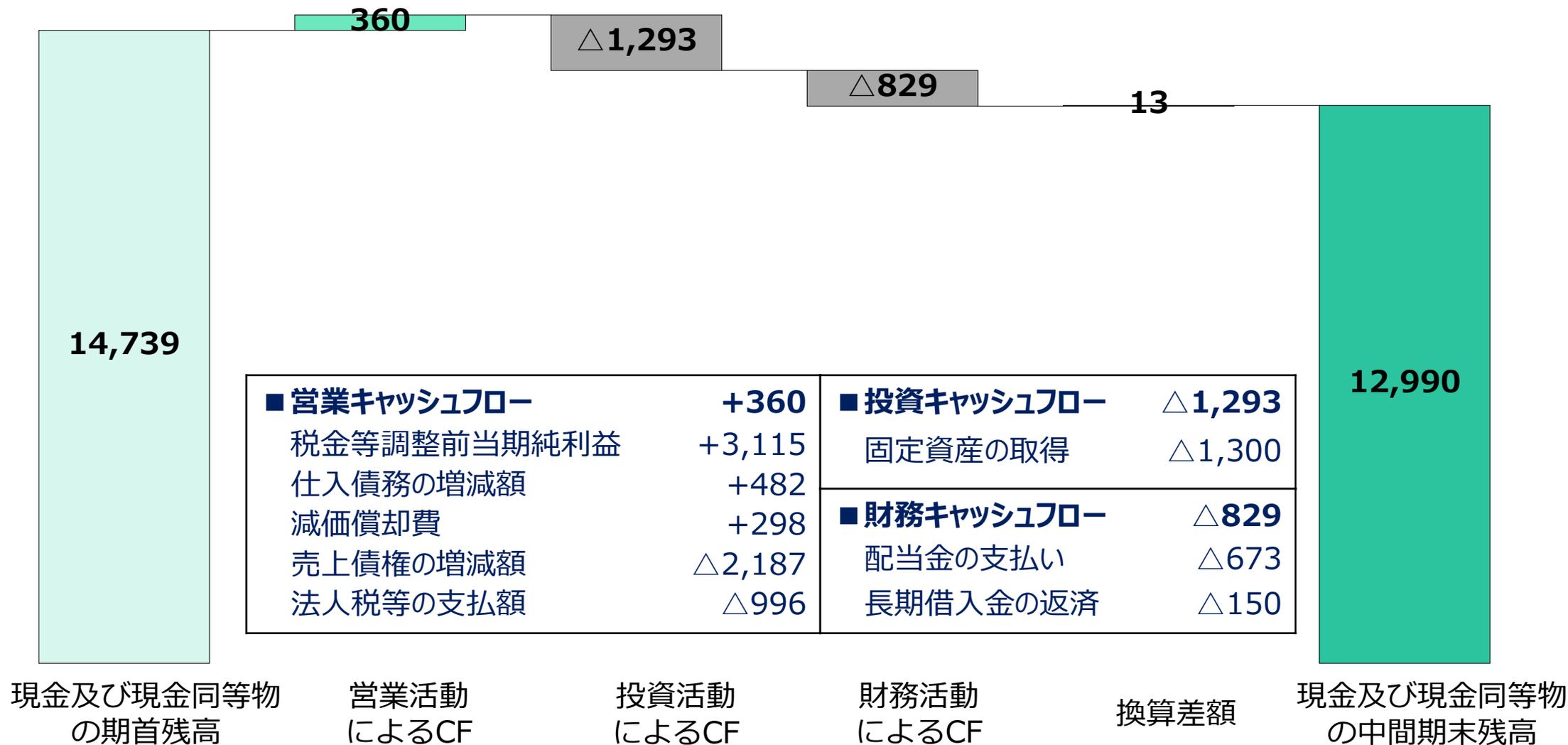
要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年6月期		2026年6月期			2025年6月期		2026年6月期	
	期末	%	上半期	%		期末	%	上半期	%
流動資産	26,527	73.5	27,056	74.1	流動負債	6,363	17.6	5,471	15.0
現金及び預金	14,919	41.3	13,164	36.1	仕入債務	2,016	5.6	2,498	6.8
売上債権	8,121	22.5	10,309	28.2	短期借入金	1,209	3.3	1,214	3.3
棚卸資産	3,264	9.0	3,434	9.4	その他	3,138	8.7	1,759	4.8
その他	221	0.6	147	0.4	固定負債	1,630	4.5	1,492	4.1
固定資産	9,587	26.5	9,459	25.9	長期借入金	1,241	3.4	1,086	3.0
有形固定資産	9,195	25.5	9,069	24.8	その他	388	1.1	406	1.1
無形固定資産	8	0.0	7	0.0	負債合計	7,994	22.1	6,964	19.1
投資その他資産	382	1.1	383	1.0	純資産合計	28,120	77.9	29,551	80.9
資産合計	36,114	100.0	36,515	100.0	負債純資産合計	36,114	100.0	36,515	100.0

要約連結キャッシュフロー計算書

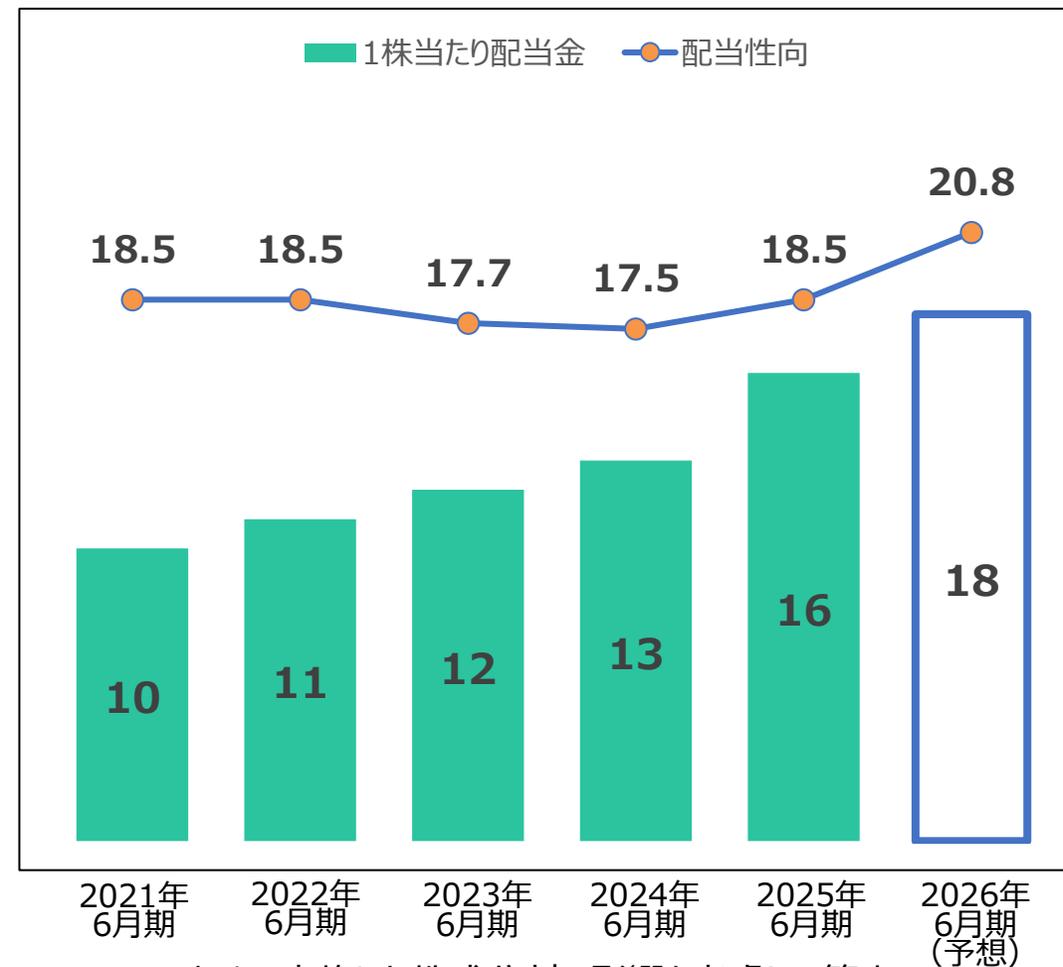
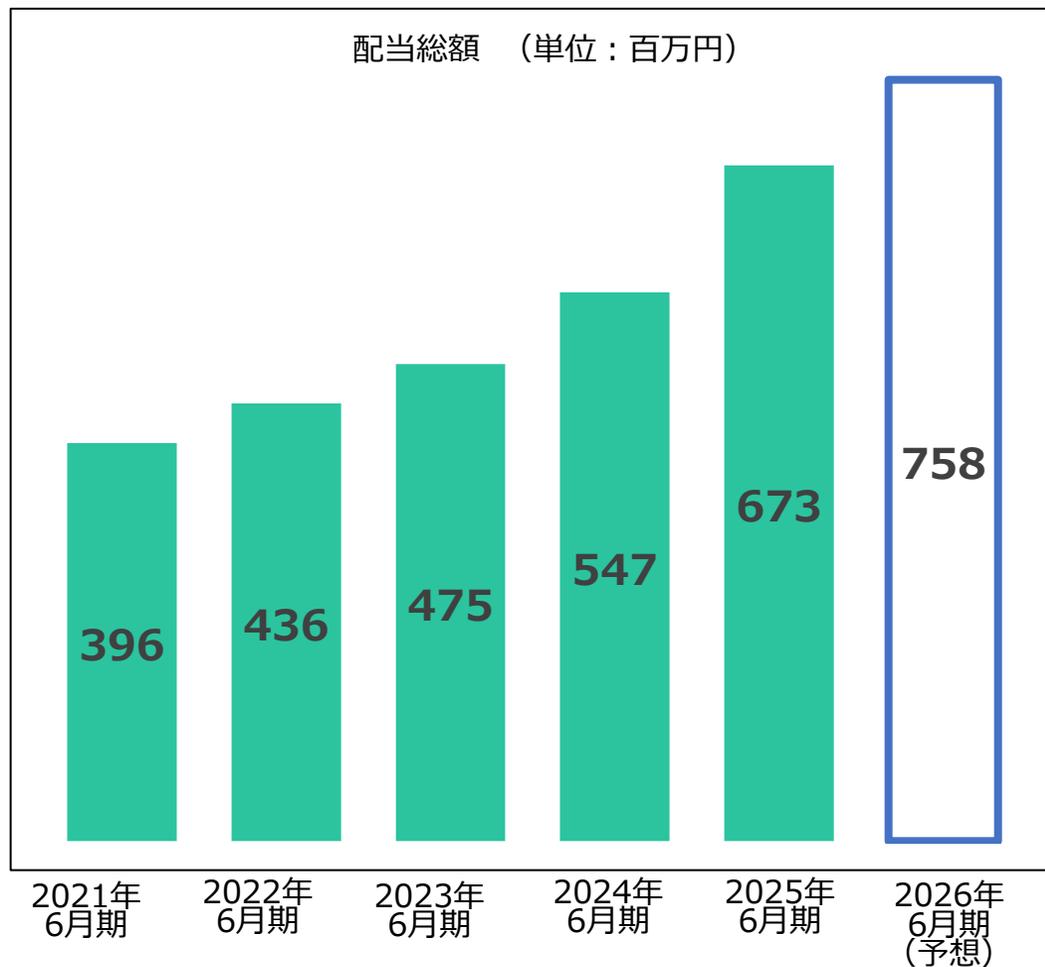
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



株主還元：「さらに1円増配へ」

2026年6月期は業績動向を勘案し、1株当たり配当金を2025年8月予想よりさらに1円**増配**し18円を予想。

配当性向20%以上を目安に総合的に判断。配当基準日：6月末日



※これまで実施した株式分割の影響を考慮して算出

通期業績予想【変更なし】

(単位：百万円)

	2025年6月期	2026年6月期	前期比		2028年6月期
	実績	予想	増減	増減率	目標
【連結売上高】	23,269	25,700	2,431	10.4	31,900
原薬セグメント	15,930	17,820	1,890	11.9	20,930
医薬品セグメント	8,668	9,080	412	4.8	12,170
調整額	△1,330	△1,200	130	—	△1,200
【連結営業利益】	5,355	5,430	75	1.4	6,530
原薬セグメント	3,215	3,300	85	2.6	3,600
医薬品セグメント	2,136	2,150	14	0.7	2,900
調整額	3	△20	△23	—	30
【連結経常利益】	5,375	5,430	55	1.0	6,430
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,637	3,640	3	0.1	4,380
減価償却費	691	673	△18	△2.6	1,024
研究開発費	154	217	63	40.9	222
設備投資額	3,077	2,699	△378	△12.3	2,066



中・長期財務目標

『成長ドライバーである医薬品セグメントを拡大させ、
2030年6月期までに**連結営業利益80億円**を目指す。』

財務	2024年6月期 (実績)	2025年6月期 (実績)	2026年6月期 (業績予想)	2028年6月期 (中期目標)	2030年6月期 (長期目標)
連結売上高 (内部取引除く)	22,134	23,269	25,700	31,900	40,000
連結営業利益	4,382	5,355	5,430	6,530	8,000
ROE	12.8%	13.7%	12%以上		更なる向上 を目指す

(単位：百万円)

蔵王第二工場建設工事 進捗状況

2026年6月竣工に向け、予定通り進行中

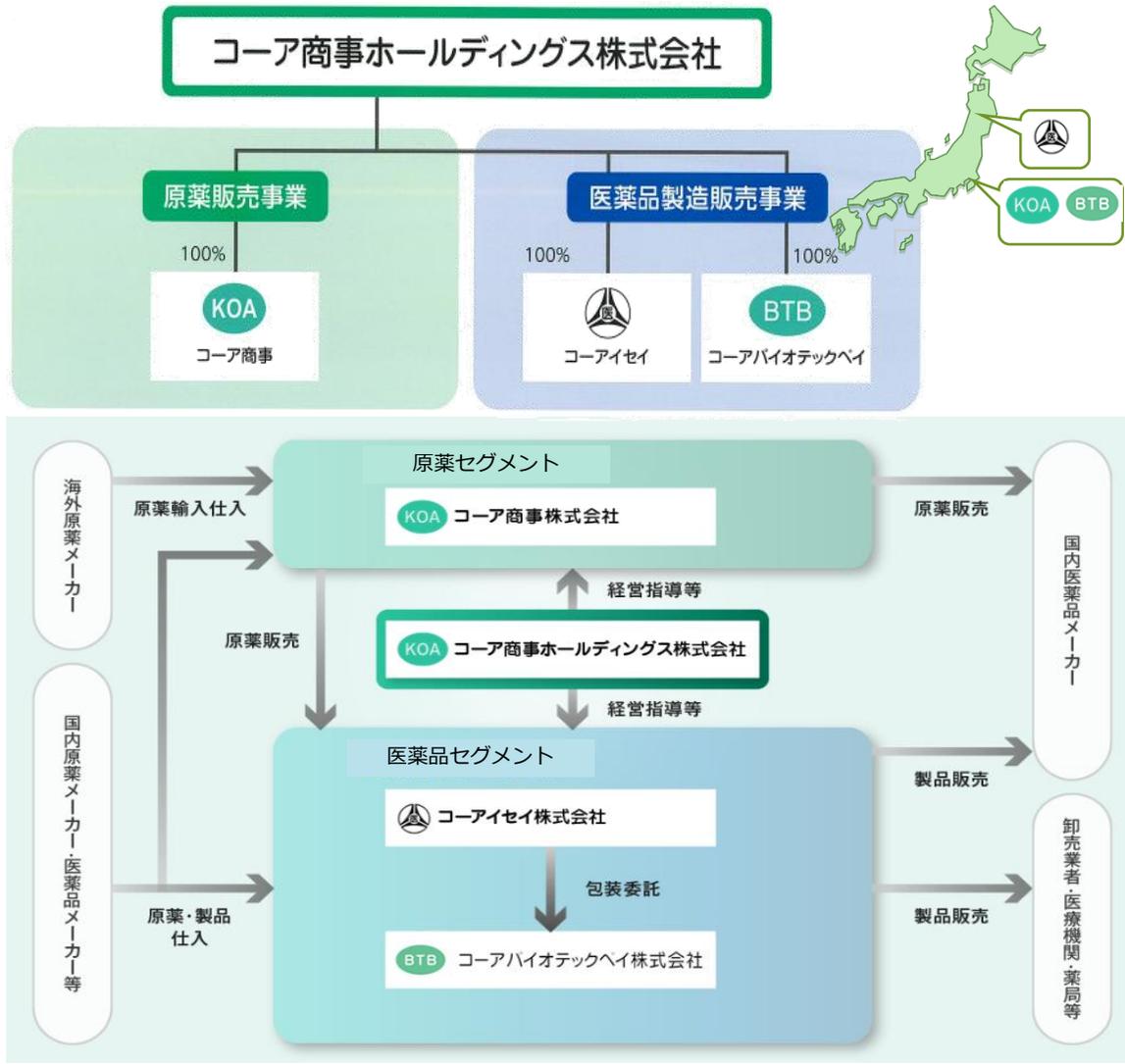


【Appendix】

- ・会社概要
- ・ビジョン・企業理念・経営方針 など
- ・ビジネスモデル



会社概要



会社概要

会社名	コア商事ホールディングス株式会社	
設立年月	2015年1月	
代表者	代表取締役社長 首藤 利幸	
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場	
従業員数※1	304名 【女性比率46.1%】	
事業内容	持株会社 【グループ事業：原薬販売、医薬品製造販売】	
本社所在地	横浜市港北区日吉7丁目13番15号	
主要株主※2	株式会社土師	42.33%
	公益財団法人首藤奨学財団	10.92%
	首藤利幸	5.01%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3.76%
ガバナンス ※2	取締役10名【社内6名、社外4名】 監査等委員4名【社外4名】	

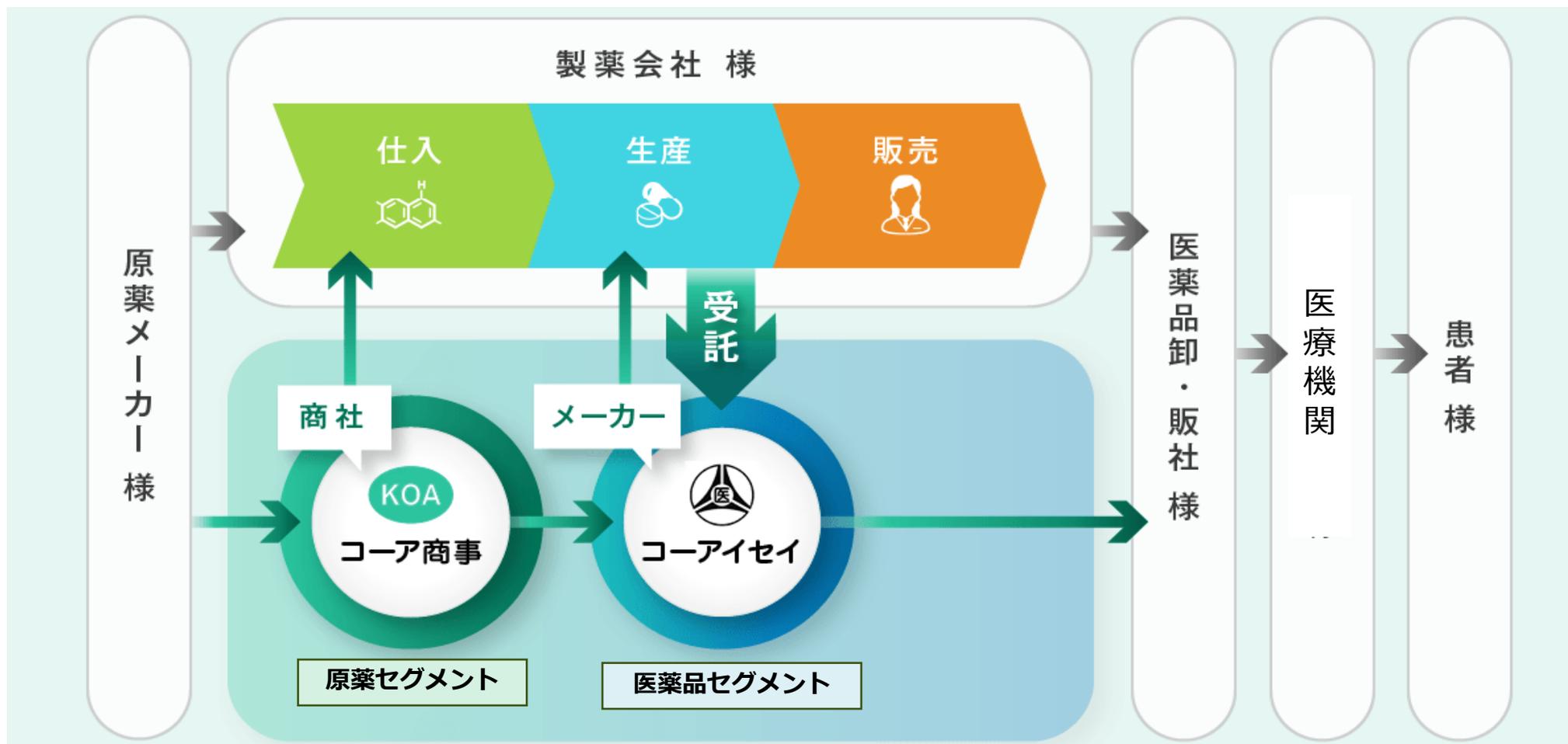
※1 2025年6月30日現在
※2 2025年12月31日現在



ビジョン・企業理念・経営方針 など



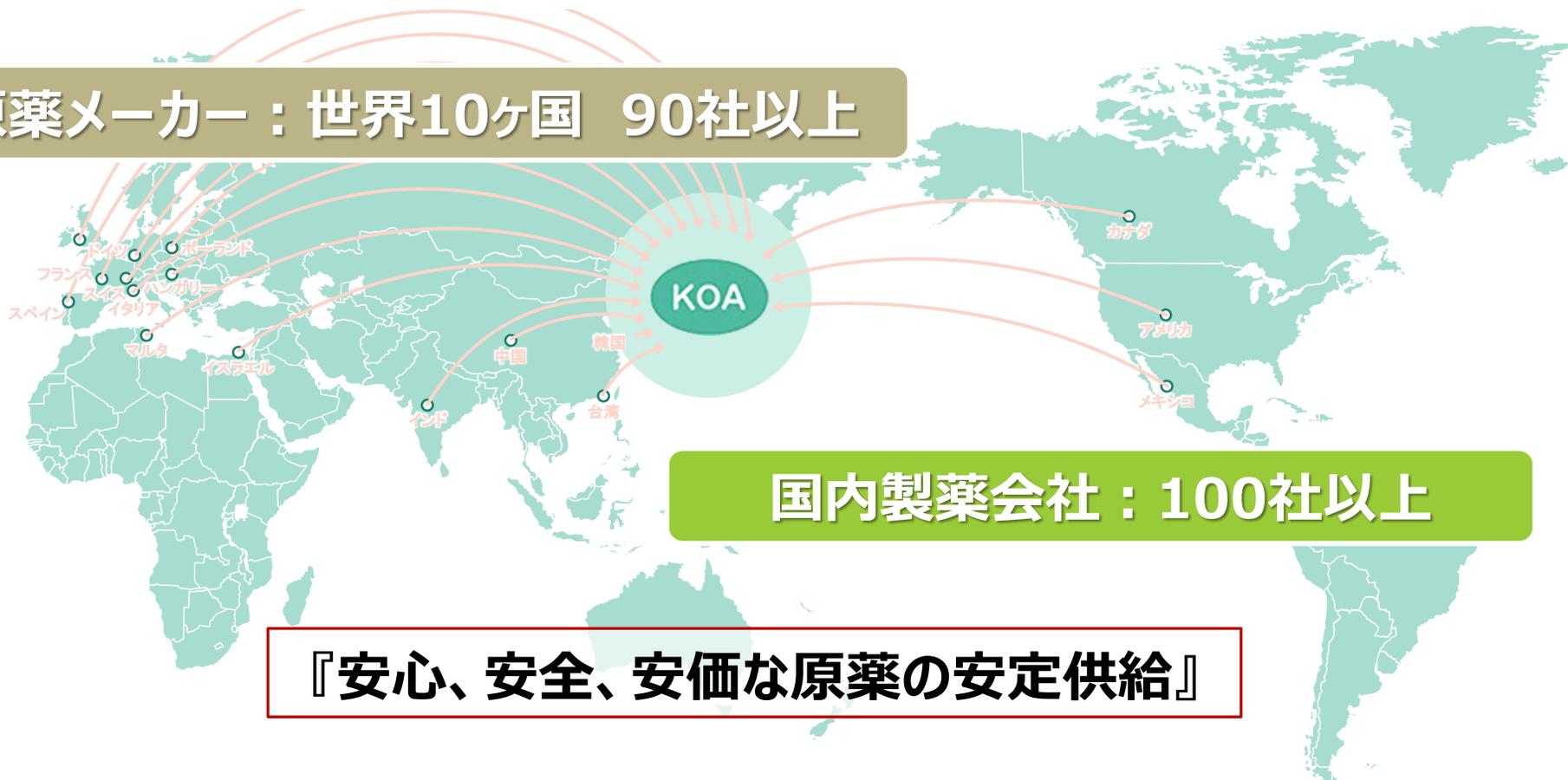
商社機能と製造機能を併せ持つビジネスモデルの独自性



原薬セグメントにおける優位性（1）

医薬品原薬の専門商社として
国内トップクラスの取引基盤・取扱商品数

海外原薬メーカー：世界10ヶ国 90社以上



国内製薬会社：100社以上

『安心、安全、安価な原薬の安定供給』

原薬セグメントにおける優位性（2）

少数精鋭の営業×スペシャリストによる充実したサポート体制



※2025年6月末時点

原薬セグメントにおける優位性 (3)

開発初期段階から安心・安全な原薬の提案を可能とする専門部隊

海外原薬メーカー

KOA

開発部

日本市場の情報提供から一緒に創るJapan Quality

数年先を見越した提案と手厚い開発サポート

国内製薬会社

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特許を回避した製法の提案 	特許調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特許見解書を提供
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の市場予測の提供 	マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場性や既存のラインナップを意識した顧客ニーズに合った提案
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本当局の査察基準に適合する管理体制の指導 ・ 日本の要求基準を満たす原薬の品質改良・新精製法の技術提案 	開発監査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼における原薬製造所の紹介 ・ 製剤に合わせた特性を有する原薬の提供
<ul style="list-style-type: none"> ・ 低コストで合成できる製造法の技術提案 	SIセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製剤開発に役立つ技術情報提供

原薬セグメントにおける優位性 (4)



国内東西2拠点の倉庫による安定供給



横浜



大阪

最先端の機器を用いた厳しい品質管理

一般的な商社が外注・省略する品質試験を、自社で実施することで、**コスト減、納期短縮、信頼性向上**を実現。

また、品質試験方法・規格の確立から、当局審査対応までサポートすることで、**顧客の開発業務負担の軽減**も担っている。



ICP-MS



SEM-EDX



XRD

医薬品セグメントにおける優位性（1）

長年にわたる**注射剤**の製造経験・凍結乾燥*技術 内服剤と注射剤3剤形(バイアル・アンプル・シリンジ)へ対応



* 凍結乾燥：必要な成分を凍結・乾燥させ、粉末状にしたもの。化学的に安定しており長期保存が可能だが使用のたびに溶解が必要。

医薬品セグメントにおける優位性 (2)



錠剤

固型の製剤。
当社の主力製品のひとつ「炭酸ランタンOD錠」は錠剤の医薬品です。



バイアル

薬剤を入れた後ゴム栓をしたもの。
注射器でゴム栓から薬液を取れる。



アンプル

薬液を充填した後に末端を溶かして閉じたもの。



シリンジ (プレフィルドシリンジ)

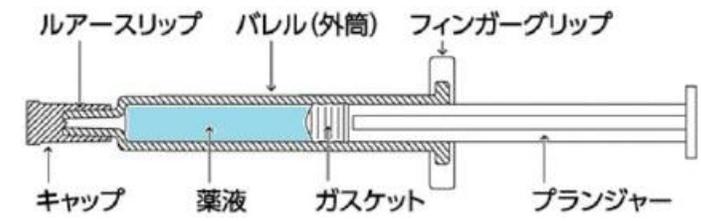
あらかじめ薬液が充填された状態の注射器。

当社製品の優位性

炭酸ランタンOD錠は、慢性腎臓病患者の高リン血症の改善用に使用される医薬品です。**ジェネリック医薬品では唯一水なしでも服用可能な口腔内崩壊錠**であり、水分摂取制限のある透析患者様に有用です。

マキサカルシトール注射剤は、副甲状腺ホルモンの合成・分泌を抑え、血中の副甲状腺ホルモン濃度を下げる薬で、通常、透析患者様の二次性副甲状腺機能亢進症の治療に用いられる医薬品です。

先発品を含め数社が販売していますが、**他社の製剤はすべてアンプル**であるのに対し、**当社の製剤はシリンジ**であります。プレフィルドシリンジの製剤は感染予防と医療従事者の安全性と作業効率向上の観点から有用であります。



医薬品セグメントにおける優位性 (3)

蔵王第一工場 少量多品種 × 高薬理活性 × 高品質・安全性



- シングルユース対応のフレキシブルな生産体制
- ケミカルハザード カテゴリー5を実現※1
- アイソレーター対応 無菌充填システム採用
...など

投資総額	約50億円
面積	建築： 1,917.04m ² 敷地： 21,028.90m ²
製造能力 (1ml換算)	シリンジ製剤：約480万本/年※3 バイアル製剤(液)：約90万本/年 凍結乾燥製剤：約60万本/年

治験薬※2から最終製品まで製造可能

- ※1 ケミカルハザード カテゴリー：高薬理活性化合物の曝露管理レベル
- ※2 人への効果や安全性、治療法などを確認する目的で行われる臨床試験(治験)に用いる為、小規模生産となる。
- ※3 3直体制での生産能力

免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、コア商事ホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



医薬品を
上流から
支える。

コア商事ホールディングス株式会社 (証券コード: 9273)